

平成 29 年度 10 月 SSH 活動記録

OIST 科学英語プレゼンテーション講座報告

10 月 12 日 (木)



沖縄科学技術大学院大学 (OIST) 大学専属講師による英語プレゼンテーション講座が実施されました。球陽高校 2 年理数科は、SSH 探究 II の研究内容を科学英語の授業で英訳します。スライドはきれいにできたつもりでも、見やすいもの、そうでないものがあります。相手に伝わるプレゼンするにはどうしたらよいかを考えることができました。相手を引きつけ、興味を持ってもらうことが大事など、掲示物以外にも、笑顔や手振りなど、注意すべきことは沢山あります。

今回はすべて英語での講座でしたが、生徒は十分理解することができていたようでした。



球陽 SSH 講座(生物)報告

10月20日(水)

琉球大学大学院教育学研究科・教授 杉尾 幸司 先生を講師にお迎えして、球陽 SSH 講座が行われました。

人間とアンドロイドの違いから始まり、人間は他者の痛みを感じようとするが、自然界で生きていくためにはこれは不利なことではないのか。自然界は「弱肉強食」か？人間社会は？という少し哲学的な話からの導入でした。

『残る』という意味を個体が生き延びるのではなく、「遺伝子が次世代に受け継がれる」と考える場合は強い者が残るのではなく、「適した者」が残る。「環境適応の方法はとても多い。」と話を進め、生物の進化につなげていきました。杉尾先生の研究についてもお話いただき、生物がどのように遺伝子を現在に残してきたかを考えることができました。



球陽 SSH 講座(地学)報告

10月25日(水)



琉球大学 理学部・教授 古川 雅英 先生を講師にお迎えして、球陽 SSH 講座が行われました。

今回の講義のテーマは『クジラ目で見た琉球弧の地質 沖縄の海を鯨瞰する』。

プレートテクトニクスのお話でした。まず、基本的なところから海溝、海嶺・トランスフォーム断層を図や、航空写真を用いて解説いただき、少し複雑になった場合を皆で考えていきました。

日本周辺ではユーラシアプレート、北米プレート、太平洋プレート、フィリピン海プレートがあるので複雑です。沖縄周辺では琉球海溝があります。フィリピン海プレートがユーラシアプレートに沈み込んでいるそうです。

プレートが回転しながら衝突する場合がありますと始めて聞き、勉強になりました。

